

No	区分	箇所	第8回審議会における中間答申案		審議会意見	検討結果・修正案	
			頁	内容		頁	内容
1	(全般)				「人口減少・少子高齢化」「社会・経済情勢」など、並列の「・」が多くの箇所に見られるため、整理してはどうか。		「・」（中点）の使用に関して、『寝屋川市公文書規程の施行について（昭和62年2月2日依命通達（総総）第772号）』において、事物の名称等を列挙する場合であって「、」（とう点）を用いることが適当でないときに、それぞれの名称の間に用いることと規定していることから、文脈等を踏まえ、「、」（とう点）に修正、又は不要な「・」（中点）を削除します。
2	計画策定に当たって	第2章 社会潮流	12	<p>第2節 分野別社会潮流</p> <p>2 安全・安心に対する意識の高まり 2段落目</p> <p>また、<u>交通事故や凶悪犯罪、振り込め詐欺などの特に子どもやシルバー世代が巻き込まれる犯罪、新型コロナウイルスを始めとした感染症や食中毒といった人の健康に影響を及ぼす事象（健康危機事象）など、人々の暮らしを脅かす事案が発生しており、安全で安心して暮らせる社会の実現が求められています。</u></p>	<p>・戦略プランの中では「振り込め詐欺」ではなく「特殊詐欺」と記載されており、また、「振り込め詐欺に子どもが巻き込まれる。」と読むことができるため、次のとおり変更してはどうか。</p> <p>「交通事故や凶悪犯罪、振り込め詐欺などの特に子どもやシルバー世代が巻き込まれる犯罪」 ↓ 「特殊詐欺の中で、振り込め詐欺については、シルバー世代」「子どもや女性に対するつきまとい、声かけ、公然わいせつ、盗撮、卑わい行為等の性犯罪」</p> <p>・現在、発見されていない感染症も含めるため、次のとおり変更してはどうか。</p> <p>「新型コロナウイルスを始めとした感染症」 ↓ 「新型コロナウイルスを始めとした新たな感染症」</p>	14	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>また、<u>子どもや女性を狙った性犯罪やシルバー世代が被害者となりやすい特殊詐欺等の犯罪、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を始めとした新たな感染症や食中毒といった人の健康に影響を及ぼす事象（健康危機事象）など、人々の暮らしを脅かす事案が発生しており、安全で安心して暮らせる社会の実現が求められています。</u></p>
3	計画策定に当たって	第2章 社会潮流	12	<p>3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「新たな日常」の実現 1段落目</p> <p>世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルスは、我が国においても感染が拡大し、社会経済活動に大きな影響を与えています。</p>	「新型コロナウイルス感染症」について、正式名称「COVID-19」をカッコ書きするなど書き方を検討してはどうか。	14	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う「新たな日常」の実現</p> <p>世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、我が国においても感染が拡大し、社会経済活動に大きな影響を与えています。</p>

No	区分	箇所	第8回審議会における中間答申案		審議会意見	検討結果・修正案	
			頁	内容		頁	内容
4	計画策定に当たって	第2章 社会潮流	12 ・ 13	4 経済情勢と雇用を取り巻く動向 1・2段落目  我が国の経済情勢は、 <u>長期にわたる景気の回復基調が続く中、予期せぬ新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、今後の先行きは不透明さを増しています。</u> また、雇用情勢においては、 <u>新型コロナウイルス感染症拡大で雇用不安が高まっていることに加えて、若年者の非正規雇用への対策とともに、結婚や出産後も女性が働き続けられる環境づくりとしての待機児童対策やシルバー世代等の雇用促進など、全世代を通しての安定した雇用環境の確保が課題となっています。</u>	・2018年後半で景気後退に入ったとの内閣府発表があったため、記載内容を変更してはどうか。  「我が国の経済情勢は、長期にわたる景気の回復基調が続く中、」 ↓ 「我が国の経済情勢は、長期にわたる景気拡大局面が終わり、後退に転じています。」  ・今後の先行きについて、「不透明さ」では不安を煽るだけになるため、次のとおり記述を変更してはどうか。  「今後の先行きは不透明さを増しています。」 ↓ 「今後の先行きは数年見通せず、長期的な視野の中で経済動向や景気の回復を見通す必要があります。」  ・「新型コロナウイルス感染症拡大で雇用不安が高まっていることに加えて、」 ↓ 「新型コロナウイルス感染症拡大で、失業者の増加、特に非正規やアルバイトの雇用不安が高まっていることに加えて、」	14 ・ 15	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <u>我が国の経済情勢は、内閣府の第19回景気動向指数研究会によると、長期にわたる景気拡張局面が終わり、後退局面に転じているとされています。また、予期せぬ新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大を受け、今後の先行きは見通しが立たず、長期的な視野で経済動向を注視していく必要があります。</u> また、雇用情勢においては、 <u>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大で失業者の増加、特に非正規雇用労働者の雇用不安が高まっていることに加えて、若年者の非正規雇用への対策とともに、結婚や出産後も女性が働き続けられる環境づくりとしての待機児童対策やシルバー世代等の雇用促進など、全世代を通しての安定した雇用環境の確保が課題となっています。</u>
5	計画策定に当たって	第2章 社会潮流	13	5 持続可能な社会の実現に向けた対応 3段落目  また、都市部においては、高度経済成長期に、文化住宅などの木造賃貸住宅が数多く建設され、狭あいな道路を含む密集市街地が形成されました。こうした地域においては、木造住宅の老朽化が進み、災害時等に大きな被害が生じるおそれがあります。	密集住宅に対する整備事業等に取り組んできたこれまでの経過を踏まえ、次のとおり変更してはどうか。  「狭あいな道路を含む密集市街地が形成されました。こうした地域においては、木造住宅の老朽化が進み、」 ↓ 「狭あいな道路を含む密集市街地が形成されました。これまでに、密集住宅地区の整備を行ってきた中で、こうした地域においては、木造住宅の老朽化が更に進み、」	15	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  また、都市部においては、高度経済成長期に、文化住宅などの木造賃貸住宅が数多く建設され、狭あいな道路を含む密集市街地が形成されました。こうした地域においては、 <u>密集住宅地区の住環境整備を推進しているものの、木造住宅の老朽化が更に進み、災害時等に大きな被害が生じるおそれがあります。</u>
6	計画策定に当たって	第2章 社会潮流	14	8 地方行政の在り方に関する動向  <u>総務省の「自治体戦略2040構想研究会」の報告書では、2040年頃にかけて想定される我が国の内政上の危機を乗り越えるために必要な新たな施策の在り方と自治体行政に関して言及されています。</u> <u>これを受けて、第32次地方制度調査会では、「2040年問題」から逆算し、顕在化する諸課題に対応する観点から、広域にわたる地方公共団体の協力関係、公・共・私のベストミックスなど、今後の地方行政体制の在り方に関して議論がなされています。</u>	第32次地方制度調査会の答申内容を踏まえ、記載内容を変更してはどうか。	16	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <u>今後の地方行政の在り方等について、第32次地方制度調査会の答申では、2040年頃にかけて顕在化する人口構造の変化やインフラの老朽化等の様々な課題に加え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のリスク等に対応していくためには、人口増加や従来技術等を前提とした現在の社会システムをデザインし直す好機と捉え、Society5.0の到来を始めとする新たな技術を基盤として、組織や地域の枠を越えて多様な主体が連携し合うネットワーク型社会を構築していくことが重要であるとされています。</u>

No	区分	箇所	第8回審議会における中間答申案		審議会意見	検討結果・修正案	
			頁	内容		頁	内容
7	基本構想	第2章 寝屋川市の未来の姿（グランドデザイン）	17	3 暮らしの姿  (2) 「市民が主役」のまちづくりが深化している  人口減少・少子高齢化の進行など社会情勢が変化することにあっても、「市民が主役」のまちづくりを基本として、市民・議会・行政のそれぞれが役割と責務を果たしながら、まちづくりに取り組んでいます。 地域では、自治会、民生委員児童委員協議会、校区福祉委員会など、それぞれの地域の特色を活かした活動が活発に行われています。また、福祉、防犯、災害時の対応等においても、地域協働協議会などの活動を通じて地域全体で支え合い、助け合う力が醸成されており、安全で安心して暮らせるまちの強化が図られています。	市内にある「大学との連携」について記載してはどうか。	21	御意見を踏まえ、次のとおり下線部分を追記します。  人口減少・少子高齢化の進行など社会情勢が変化することにあっても、「市民が主役」のまちづくりを基本として、市民・議会・行政のそれぞれが役割と責務を果たしながら、まちづくりに取り組んでいます。 地域では、自治会、民生委員児童委員協議会、校区福祉委員会など、それぞれの地域の特色を活かした活動が活発に行われています。また、福祉、防犯、災害時の対応等においても、地域協働協議会などの活動を通じて地域全体で支え合い、助け合う力が醸成されており、安全で安心して暮らせるまちの強化が図られています。 <u>また、大学等と地域の連携が様々な分野で更に進み、多様な主体が参画する協働のまちづくりが展開されています。</u>
8	基本構想	第2章 寝屋川市の未来の姿（グランドデザイン）	16	2 ひとの姿  (1) 子どもたちが健やかに成長している 2段落目  学校では、ディベート教育などによる「考える力」をベースとした「寝屋川方式の学習法」による教育を受け、社会で強く生き抜くための力を身につけた子どもたちが青年になり、厳しさを増す社会の中で活躍しています。こうした姿を次代の子どもたちが見ることで、更に学習意欲が上がる「学びの好循環」を生み出しています。	「ディベート教育」や「メインアイコン」という文言については、具体的な記述であり、プレゼント・プッシュと捉えられるため、文言を整理してはどうか。	20	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。（「新しい公園都市の「メインアイコン」として、」を削除します。） なお、「ディベート教育」については、寝屋川方式の学習法による教育の一つの手法としての記述であり、また、ディベート教育は一般的な記述でもあることから、原案のとおりとします。
			18	4 まちの姿  (1) 地域の強みやポテンシャルを活用したまちづくりが進んでいる  市内の京阪沿線、JR学研都市線沿線の2つの鉄道軸の駅周辺を中心として、それぞれの地域の強みやポテンシャルを有効に活用したまちづくりが進んでいます。 京阪沿線エリアは、幹線道路の拡幅、駅・線路の高架化やまちのリノベーションが進み、都市の成熟度・洗練度が更に高まっています。 JR学研都市線沿線エリアは、施設一体型小中一貫校が建設され、新しい公園都市の「メインアイコン」として、 <u>広範なグランドデザインの中で存在感を示すとともに、新たなまちのランドマークとなっています。</u>		22	4 まちの姿  (1) 地域の強みやポテンシャルを活用したまちづくりが進んでいる  市内の京阪沿線、JR学研都市線沿線の2つの鉄道軸の駅周辺を中心として、それぞれの地域の強みやポテンシャルを有効に活用したまちづくりが進んでいます。 京阪沿線エリアは、幹線道路の拡幅、駅・線路の高架化やまちのリノベーションが進み、都市の成熟度、洗練度が更に高まっています。 JR学研都市線沿線エリアは、施設一体型小中一貫校が建設され、 <u>広範なグランドデザインの中で存在感を示すとともに、新たなまちのランドマークとなっています。</u>

No	区分	箇所	第8回審議会における中間答申案		審議会意見	検討結果・修正案	
			頁	内容		頁	内容
9	基本構想	第3章 計画推進の基本 姿勢	20	2 ポテンシャルを最大限に活かし、更に伸ばす 5・6行目  ・国道1号、170号、第二京阪道路等の主要幹線道路な ど、「ひと」や「もの」が活発に行き交う <u>便利で利用しや すい道路網の存在</u>	「国道1号、170号、第二京阪道路等の主要幹線道路 など」の記述について、次のとおり変更してはどうか。  「国道1号、170号、第二京阪道路等の主要幹線道路 など、「ひと」や「もの」が活発に行き交う便利で利 用しやすい道路網の存在」  ↓ 「国道1号を利用し大阪市域にアクセスしやすい阪神 高速守口線出入口への市域境及び170号並びに第二京 阪道路等の主要幹線道路網による交通結節点、「ひ と」や「もの」の活発な行き交いがしやすい道路網環 境の存在」	24	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  ・国道1号、170号、第二京阪道路等の主要幹線道路が整 備されており、大阪・京都の都心部へのアクセス性の高 さを活かした「ひと」や「もの」が活発に行き交う道路網の 存在
10	基本構想	第4章 まちづくりの方 向性	24	第2節 施策分類ごとの方向性  施策分類ごとの方向性の図	「訴求力のある施策」「くらしの質を高める施策」 「生活を支える施策」は同列の施策と位置付けられて いることから、「くらしの質を高める施策」「生活 を支える施策」の色を変えてはどうか。	28	御意見を踏まえ、図中の「生活を支える施策」及び「く らしの質を高める施策」の色を変更し、各施策分類が違 う色となるよう修正します。
11	基本構想	第5章 将来人口及び都 市構造とまちづ くりの考え方	32	1 将来人口 5段落目  こうした状況を踏まえ、第六次寝屋川市総合計画の目標 年次である令和9年度（2027年度）の将来人口を「人口ビ ジョン」による推計人口から「22万人」と想定した上で、 第六次寝屋川市総合計画の着実な推進を図ることにより、 <u>確実な人口減少対策及び人口の年齢構成のリバランスの実 現を図ります。</u>	「確実な人口減少対策」とあるが、確実に人口減少対 策となる施策を実施するのは難しいことから、記載を 見直してはどうか。	36	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。（「確実な」を 削ります。）  こうした状況を踏まえ、第六次総合計画の目標年次であ る令和9年度（2027年度）の将来人口を「人口ビジョン」 による推計人口から「22万人」と想定した上で、第六次総 合計画の着実な推進を図ることにより、人口減少対策及び 人口の年齢構成のリバランスの実現を図ります。
12	基本構想	第6章 総合計画を軸と した行財政運営 の推進	33	【寝屋川市の総人口に占める65歳以上人口（老年人口）の 割合の推計】	【寝屋川市の総人口に占める65歳以上人口（老年人口） の割合の推計】の表に、「人口ビジョン目標値にお ける老年人口の割合」を記載してはどうか。	37	御意見を踏まえ、人口ビジョンにおける各年の老年人口割 合の推計値を追加します。

No	区分	箇所	第8回審議会における中間答申案		審議会意見	検討結果・修正案	
			頁	内容		頁	内容
13	戦略プラン【施策3】	行政が市民等に期待する役割	3	<p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者としての役割や責任を意識した子育ての実践</li> <li>●大人の振る舞いが子どもに影響を与える可能性があることを踏まえた、他人の人格を尊重する態度・行動</li> <li>●地域の一員として見守り活動など地域活動への積極的な参加</li> </ul> <p>地域・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で見守ることによる子どもの安全・安心の確保</li> </ul>	<p>行政が市民等に期待する役割について、いじめ・虐待等をどのようにキャッチしていくかの記載を充実するため、次の内容を追記してはどうか。</p> <p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域の一員として子育て世代を見守る意識」を追加してはどうか。</li> </ul> <p>地域・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域全体で子育て家庭を見守り、理解を深めることで、子どもの安全・安心の確保</li> </ul>	50	<p>御意見を踏まえ、次のとおり下線部分を追記します。</p> <p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者としての役割や責任を意識した子育ての実践</li> <li>●大人の振る舞いが子どもに影響を与える可能性があることを踏まえた、他人の人格を尊重する態度・行動</li> <li>●<u>地域の一員として、子育て家庭を見守る意識の向上及び見守り活動など地域活動への積極的な参加</u></li> </ul> <p>地域・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>地域全体で子育て家庭を見守り、理解を深めることによる子どもの安全・安心の確保</u></li> </ul>
14	戦略プラン【施策14】	施策の展開	14	<p>&lt;施策の展開④&gt;</p> <p>「身近で親しめる読書環境・活動の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な市民の読書ニーズに対応できる総合的な情報拠点として、分野別の蔵書の充実を図るとともに、シルバー世代や障害者向けの拡大読書器や音声読書機の導入、並びにICT化への取組など、図書館機能の更なる充実を図り、効果的で効率的な図書館運営を行います。</li> </ul>	<p>④の課題にある「各世代のニーズに応じた図書の配架」と、施策の展開の「分野別の蔵書の充実を図る」については、課題と展開として対応していないのではないか。</p>	73	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な市民の読書ニーズに対応できる総合的な情報拠点として、<u>世代ごとに異なる価値観やライフスタイル等に即した世代別・分野別の蔵書の充実を図るとともに、シルバー世代や障害者向けの拡大読書器や音声読書機の導入など、誰もが利用しやすい読書環境を整備します。また、ICT化への取組など図書館機能の更なる充実を図り、効果的で効率的な図書館運営を行います。</u></li> </ul>
15	戦略プラン【施策17】	施策の展開	17	<p>&lt;施策の展開②&gt;</p> <p>「行政手続のオンライン化の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民が来庁することなく行政手続が完了できるよう、市税の電子申告や電子納付などのICT化を推進するとともに、<u>個人番号カードの普及・啓発や、市による独自利用を推進し、市民の利便性の向上を図ります。</u></li> </ul>	<p>施策の展開②の個人番号カードの「市による独自利用」という表現は、市民には分かりにくいのではないかと。</p>	79	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民が来庁することなく行政手続が完了できるよう、市税の電子申告や電子納付などのICT化を推進するとともに、<u>個人番号カードの普及・啓発や行政サービスにおける市独自の利活用等による多機能化を推進し、市民の利便性の向上を図ります。</u></li> </ul>

No	区分	箇所	第8回審議会における中間答申案		審議会意見	検討結果・修正案	
			頁	内容		頁	内容
16	戦略プラン【施策6】	施策指標	6	市内小売店舗の合計売場面積  実績値(R1) $\frac{213,716\text{m}^2}{}$ (※1) 中間目標値(R5) $\frac{215,460\text{m}^2}{}$ 目標値(R9) $\frac{217,200\text{m}^2}{}$  ※1 経済センサス活動調査実績値(平成28年度)を記載	実績値の確定等に伴い、数値を時点更新	57	実績値(R1) $\frac{215,246\text{m}^2}{}$ 中間目標値(R5) $\frac{216,222\text{m}^2}{}$ 目標値(R9) $\frac{217,200\text{m}^2}{}$
17	戦略プラン【施策9】	施策指標	9	健康寿命  実績値(R1) 男 $\frac{78.45\text{年}}{}$ 女 $\frac{83.34\text{年}}{}$ (※1) 中間目標値(R5) 男 $\frac{80.10\text{年}}{}$ 女 $\frac{83.73\text{年}}{}$ 目標値(R9) 男 $\frac{80.60\text{年}}{}$ 女 $\frac{84.23\text{年}}{}$  ※1 国統計に基づき算出するため、平成30年度実績値を記載		63	実績値(R1) 男 $\frac{78.39\text{年}}{}$ 女 $\frac{82.22\text{年}}{}$ (※1) 中間目標値(R5) 男 $\frac{80.10\text{年}}{}$ 女 $\frac{83.73\text{年}}{}$ 目標値(R9) 男 $\frac{80.60\text{年}}{}$ 女 $\frac{84.23\text{年}}{}$  ※1 国統計に基づき算出するため、平成30年度実績値を記載
18	戦略プラン【施策14】	施策指標	14	図書館の市民一人当たりの貸出冊数  実績値(R1) $\frac{5.3\text{冊}}{}$ 中間目標値(R5) $\frac{5.6\text{冊}}{}$ 目標値(R9) $\frac{5.9\text{冊}}{}$		73	実績値(R1) $\frac{3.7\text{冊}}{}$ 中間目標値(R5) $\frac{4.6\text{冊}}{}$ 目標値(R9) $\frac{5.4\text{冊}}{}$
19	戦略プラン【施策19】	施策指標	19	経常収支比率  実績値(R1) $\frac{94.3\%}{}$ 中間目標値(R5) $\frac{96.5\%}{}$ (※) 目標値(R9) $\frac{96.5\%}{}$ (※)  ※ 少子高齢化の進行等による社会保障関連経費の増加により、比率の上昇が見込まれますが、引き続き、府内都市平均以下の確保を目標とします。		83	実績値(R1) $\frac{91.3\%}{}$ 中間目標値(R5) $\frac{96.5\%}{}$ (※) 目標値(R9) $\frac{96.5\%}{}$ (※)  ※ 少子高齢化の進行等による社会保障関連経費の増加により、比率の上昇が見込まれますが、引き続き、府内都市平均以下の確保を目標とします。